平成24年5月10日

各　　位

会　社　名　株式会社　ハマキョウレックス
代表者の役職氏名　代表取締役社長　大須賀　秀　徳
（コード番号　９０３７　東証第一部）
問合せ先　常務取締役執行役員　山　崎　裕　康
（ＴＥＬ．０５３－４４４－００５４）

新中期経営計画について（新３ヵ年計画）

平成24年５月10日(木)開催の当社取締役会におきまして、更なる業績の向上を目指した新中期経営計画(平成24年４月～平成27年３月)を策定・決議いたしましたのでその概要をお知らせいたします。

１．基本理念

(1) 和・コミュニケーションを大切にしながら、高いコスト意識を持ち、全員参加の経営で、日本一コスト競争力のある物流会社を目指します。

(2) お客様の物流利益の創出(≒物流コストの削減)に貢献し、お客様とともに繁栄するという心、パートナーシップを大切にしてまいります。

(3) 従来の枠にとらわれず、常に高い目標を具体的に掲げ、従業員全員の知恵を結集してその達成を実現してまいります。

２．事業展開方針

わが国経済は、劇的な社会環境の変化により、先行き不透明な状況にあります。当業界におきましても、物量や燃料価格の乱高下により、厳しい状況が続いております。

こうした環境の中、当社は、お客様の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、日々変化する社会環境に応じた、高品質・低価格・最適な物流を提案し、当社の主力であります、物流センター事業（３ＰＬ事業）を中心に、更なる成長を図ってまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

下記取組みにより平成27年３月期の連結経常利益80億円を目指してまいります。

(1) ３ＰＬ事業を軸とする事業展開

・既存の業種にとらわれず、全ての物流に対し積極的に取組む
・現場の自社運営を基本とし、現場重視の物流を体現する
・お客様とのコミュニケーションを重視し、提案型物流企業をめざす
・アセットの保有を過度に恐れず、事業採算・リスクを勘案し、設備投資を積極的に行う
・見込みの投資は一切せず、センター稼動後即フル稼働を設備投資の基本姿勢とする
・「営業本部」・「開発本部」・「管理本部」が一体となり、無駄なコストの削減をはかる

(2) ３ＰＬ事業とグループ会社の融合

・グループ各社の既存の業務にとらわれず、グループ内のインフラ・ノウハウを有効活用した、事業展開を図ってまいります

(3) 新規顧客獲得に向けた取組み

・既存の組織・職務・各関連会社にとらわれず、グループ全体での新規顧客獲得に向けた営業を行う

・物流センター事業での年間受託件数15社を目指す

(4) 海外戦略への取組み

・国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開を図る

３．数値計画

（単位：百万円）

	平成25年3月期目標		平成26年3月期目標		平成27年3月期目標	
	連 結	単 体	連 結	単 体	連 結	単 体
営 業 収 益	91,000	36,000	96,000	40,000	100,000	44,000
営 業 利 益	6,900	4,300	7,400	4,800	8,000	5,300
経 常 利 益	6,900	4,500	7,400	5,000	8,000	5,500
当 期 純 利 益	3,500	2,600	3,800	2,800	4,200	3,100
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	419.00円	311.26円	454.92円	335.20円	502.80円	371.12円
営 業 収 益 経 常 利 益 率	7.6%	12.5%	7.7%	12.5%	8.0%	12.5%
設 備 投 資 額	28億円	12億円	76億円	60億円	28億円	12億円

４．セグメント別数値計画

（単位：百万円）

	平成25年3月期目標		平成26年3月期目標		平成27年3月期目標	
	センター	貨物自動車	センター	貨物自動車	センター	貨物自動車
営 業 収 益	44,000 (48.4%)	47,000 (51.6%)	48,600 (50.6%)	47,400 (49.4%)	52,500 (52.5%)	47,500 (47.5%)
営 業 利 益	5,500 (79.7%)	1,400 (20.3%)	6,000 (81.1%)	1,400 (18.9%)	6,500 (81.3%)	1,500 (18.7%)

※（ ）内は構成比率

以 上